# 第3章 第4期千葉県がん対策推進計画の基本的な考え方



## 1 基本理念と全体目標

### (1)基本理念

# ちからを合わせて<mark>「がん」</mark>にうち克つちば

がん治療技術の進歩、少子高齢化・人口減少、様々な分野でのICTの活用・ デジタル化の進展、今般の新型コロナ感染症の流行など、がん医療を取り巻く 環境は刻々と変化しています。

がん患者やその家族を、居住地にかかわらず、各地域において、高度で専門的ながん医療及び「全人的な苦痛」への支援を提供するためには、がん患者を含むあらゆる関係者が分野横断的に連携し、提供体制を構築していくことが必要です。

千葉県第4期がん対策推進計画では、第3期計画の基本理念を継承しつつ、 関係者の連携を一層強化し、千葉県のがん対策を総合的かつ計画的に推進する ことにより、「**ちからをあわせて**「がん」に**うち克つちば」**の実現を目指します。

## (2)全体目標

#### 全体目標 1

# がんによる死亡率を減らしていきます

≪目標≫ 第4期計画策定時に確定していた令和3年の人口動態統計をもとに算定された数値と比較して、今後6年間の、

75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の減少

#### 全体目標 2

がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、 生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる 地域共生社会を目指します

第3期計画の「がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる<u>社会</u>を目指します」から、国の第4期計画に合わせ、<u>地域共生社会</u>に変更し、地域の連携による医療・支援の更なる充実を図ります。

# 2 施策の体系

県の第3期計画にあった「1.早期・予防発見」、「2.医療」、「3.がんとの共生」の3分野を維持するとともに、「4.研究等」を改編し、3分野の施策実現に必要な共通の要素として、「4.がん診療を支える基盤の整備」を新たに設けました。

1. 予防•早期発見

科学的根拠に基づく がん予防・がん検診の充実

患者本位のがん医療の実現

尊厳を持って安心して暮らせる 地域共生社会の構築

がん研究・がん登録の推進及び 3分野の施策実現に必要な 共通の要素の整備

#### (1)予 防

- 1たばこ対策の充実
- ②生活習慣等の改善
- ③感染症対策
- 4がん予防の知識の普及啓発

#### (2)早期発見

- ①がん検診の受診率向上
- ②がん検診の精度管理等
- 3科学的根拠に基づくがん検診の実施

#### (1)がん医療の充実

- ①がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携 協力病院を中心とした医療提供体制の推進
- ②地域医療連携体制の構築等
- ③がんゲノム医療提供体制づくり
- ④がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- (2)希少がん、難治性がん
- (3)小児がんおよびAYA世代のがん対策
- (4)高齢者のがん対策
- (5)口腔ケアに関する医科歯科連携

#### (1)相談支援•情報提供

- ①相談支援の充実 ②情報提供の充実
- (2)地域と連携した緩和ケアの推進
- (3)がん患者のサバイバーシップ支援
  - ①就労支援 ②アピアランスケア
  - ③その他の社会的課題(偏見・自殺対策)
- (4)ライフステージに応じた療養生活への支援
  - ①小児・AYA世代への支援
  - ②高齢者への支援

#### (1)がん研究

- ①基礎研究・橋渡し研究
- ②臨床研究の促進
- ③がん予防のための疫学研究
- (2)人材育成の強化
- (3)がん教育の推進
- (4)がん登録
  - ①全国がん登録
  - ②院内がん登録
- (5)患者・市民参画の推進
- (6)デジタル化の推進
- (7)感染症発生・まん延時や災害等を見据えた連携

2<sub>.</sub> 医

療

3. がんとの共生

4. がん診療を支える基盤の整

備

# 3 数値目標(ロジックモデルから引用)

# 1 予防・早期発見~科学的根拠に基づく予防・がん検診の充実~

項目	策定時	目標	データソース
喫煙する者の割合の減少	男性:21.9% 女性:6.9% (令和3年度)	男性:12% 女性:5.0%	生活習慣に関するアンケート調査
未成年の喫煙をなくす	男性:1.6% 女性:1.2% (令和3年度)	0%	生活習慣に関するアンケート調査
妊婦の喫煙をなくす	1.5% (令和3年度)	0%	妊娠届出時の聞き取り調 査
受動喫煙防止対策	2.1% (令和3年度)	望まない受動喫煙 のない社会の実現	生活習慣に関するアンケート調査
	3.7% (令和3年度)	望まない受動喫煙 のない社会の実現	生活習慣に関するアンケート調査
	職場:19.5% 家庭:5.0% 飲食店:16.0% (令和3年度)	望まない受動喫煙のな い社会の実現	生活習慣に関するアンケート調査
食塩摂取量の減少(1日あたり)	男性:10.9g 女性:9.4g (平成27年度)	男性:7.5g 女性:6.5g	県民健康·栄養調査
野菜摂取量の増加(1日あたり)	308g (平成27年度)	350g	県民健康·栄養調査
果物摂取量の改善(1日あたり)	ie	200g%	県民健康·栄養調査
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少(1日 当たりの純アルコール摂取量)	男性:21.5% 女性:29.3% (令和3年度)	男性:10% 女性:6.4%	生活習慣に関するアンケー ト調査

がん検診の受診率向上	49.8% (令和4年)	60%	
	52.2% (令和4年)	60%	国民生活基礎調査
	46.2% (令和4年)	60%	
	55% (令和4年)	60%	
	47.5% (令和4年)	60%	
精密検査受診率の向上	85.2% (令和2年度)	90%	地域保健·健康增進事業報告
	83.3% (令和2年度)	90%	
	67.3% (令和2年度)	90%	
	91.7% (令和2年度)	90%	
	77.9% (令和2年度)	90%	

## 2 医療~患者本位のがん医療の充実

項目	策定時	目標	データソース
がん診療連携拠点病院等におけ る、がん医療の質向上	16件 (令和4年度)	増加	千葉県がん診療連携協議 会資料
がん等の診療に携わる医師等に 対する緩和ケア研修を修了した医 師数の増加	拠点病院等 4,341名 (令和5年3月まで の累計) 拠点病院以外 1409名 (同上)	増加	研修修了者数(医師·歯 科医師)
がん等の診療に携わる医師等に 対する緩和ケア研修を修了した医療従事者の増加	1,867名 (令和5年3月まで の累計)	増加	研修修了者数 (医師·歯 科医師以外)
緩和ケアチームへの年間依頼件数 の増加	5,873件 (令和 3 年度)	増加	千葉県がん診療連携協議 会緩和医療専門部会によ る調査、 現況報告
口腔ケアの地域医療連携	10病院 (令和 4 年度)	増加	千葉県がん診療連携協議 会資料

# 3 がんとの共生 ~ 尊厳をもって安心して暮らせる地域共生社会の構築 ~

項目	策定時	目標	データソース
がん相談支援センターの認知度 向上	集計中	増加する	千葉県がん対策に関する アンケート調査
がん相談支援センターの相談件 数の増加	22,049件 (R3.1.1~R3.12.31)	増加する	現況報告書
がん相談支援センター利用者の 満足度向上	集計中	増加する	千葉県がん対策に関する アンケート調査
ピア・サポーターの活動の場の拡大	H30年度16箇所 (対面開催) R4年度24回 (リモートサロン)	拡大する	「ピア・サポーターズサロンち ば」の開催実績
「千葉県がん情報ちばがんなび」 の認知度の増加	集計中	50%	千葉県がん対策に関する アンケート調査
住まいの場での死亡割合	28.5% (令和 3 年) 16.9% (令和元年)	維持する	千葉県衛生統計年報
がん患者の看取りをする在宅療 養支援診療所及び一般診療所 数の増加	136か所 (令和 4 年度)	増加	緩和ケアに関する社会資 源調査
がん患者の看取り対応ができる訪 問看護事業所数の増加	248か所 (令和 4 年度)	増加	緩和ケアに関する社会資 源調査
がん患者の看取り対応ができる介 護施設数の増加	467か所 (令和3年度)	増加	緩和ケアに関する社会資 源調査

## 4 がん診療を支える基盤の整備

項目	策定時	目標	データソース
全国がん等によつDCO率の減少	1.6% (2019年)	減少する	全国がん罹患モニタリング 集計
国の標準様式に基づく院内がん 登録の実施医療機関数の増加	41 (2021年)	増加する	千葉県がん診療連携協議 会